

令和
8年度

三島市国際交流協会総会開催

令和8年度三島市国際交流協会総会が、5月12日(火)、みしまプラザホテルにて開催されました。冒頭、平出利之会長は挨拶の中で「昨年10月に麗水市から武術・太極拳交流団が来島し、大勢の市民の方と交流しました。その際、スポーツ・武術及び文化交流に関する協定書に調印し、相互交流の促進を確認しました。子どもたちや教師の交流に加え、今後、このようなスポーツや文化の分野での交流にも、力を入れていきたい」と述べました。

来賓の豊岡武士三島市長、堀江和雄市議会議長の祝辞のあと、議事に入り、令和7年度事業報告、決算報告、会計監査報告、役員改定案、令和8年度事業計画案、予算案の審議が行われ、全議案とも原案通り承認されました。名誉会長、顧問、相談役、及び役員（任期令和10年3月31日まで）は下表の通り。総会終了後には、懇親会が開催されました。



総会の様子

名誉会長、顧問、相談役名簿（敬称略）

役職	氏名	備考
名誉会長	豊岡 武士	三島市長
顧問	小池 政臣	前市長
顧問	堀江 和雄	市議会議長
相談役	小松 幸子	元会長
相談役	朝日 智雄	前会長

役員名簿（敬称略） 任期：令和8年4月1日～令和10年3月31日まで

役職	氏名	備考
理事	平出 利之	会長
理事	矢岸 克行	副会長
理事	遠藤 正幸	副会長
理事	千葉 慎二	会計
理事	望月 眞弓	総務委員長
理事	金子 諭	広報委員長
理事	落合 重人	在住外国人交流委員長
理事	岡 良森	都市交流委員長
理事	筒井 波留	総務副委員長
理事	大畠 公好子	広報副委員長
理事	小池 匡樹	在住外国人交流副委員長
理事	原 国太郎	都市交流副委員長
理事	鈴木 智子	三島商工会議所 事務局長
理事	青木 幹雄	富士伊豆農業協同組合三島函南地区本部
理事	熊木 秀行	日本大学国際関係学部 准教授
理事	足立 博道	三島市自治会連合会 副会長
理事	草間 路代	三島市文化芸術協会 副会長
理事	山田 敏博	三島ロータリークラブ
理事	遠藤 眞道	三島西ロータリークラブ
理事	小島 真	せせらぎ三島ロータリークラブ
理事	岡田 順二	三島ライオンズクラブ
理事	遠藤 智	三島泉ライオンズクラブ
理事	原 裕貴	(一般社団法人)三島青年会議所 理事長
理事	舟橋 智子	国際ソロプチミスト駿河 理事
理事	王 春華	在住外国人代表
理事	松田 智子	三島日本語サークル 会長
監事	玄角 裕巳	玄角会計事務所
監事	志村 肇	学識経験者

新・在住外国人交流委員長に おちあいしげと 落合重人さん

内食材料提供業（スーパーマーケット）に携わっています。ここ数年いろいろな国のお客さまがみえるようになりました。食品販売を通じて国際親善や国際交流を図っています。地域コミュニティにおける多文化共生にお役に立てればと思います。MIRAに入会しました。アウトドア、ネコ、ワイン、英語の好きなシニアです。よろしくお願いいたします。



3月3日、北上小学校の4年生48人を対象に国際理解教室が開催されました。5年生から世界について学び始める子供たちが、他国の文化に関心を持ってくれるようにと担任の先生方が企画したものです。講師として、フィリピン・セブ島出身の福田テルマさんとイタリア・ローマ出身のバレリオ・ルチッティさんが招かれました。福田さんは、フィリピンの交通手段や子供たちの遊び、そしてフィリピン人同士の助け合いの文化について紹介し、子供たちに異なる国の生活や価値観を伝えました。一方、バレさんはイタリアの歴史や地理、食文化、スポーツ、アートについて語り、日本でも身近に感じられるイタリアの魅力を伝えました。教室では、子供たちから多くの質問が寄せられ、活発な交流が生まれました。今回の国際理解教室を通して、子供たちは日本以外の国や文化に触れ、世界への興味を広げるきっかけとなったようです。



福田テルマさん



バレリオさん

第25回

フラワーアレンジメント講座開催



3月8日（日）、三島市民生涯学習センターにおいて、第25回フラワーアレンジメント講座がおこなわれました。「国際女性デー」（女性の権利や平等に関わる記念日）のこの日は別名「ミモザの日」とも呼ばれ、多くの国で“ミモザを贈る習慣がある”ことなどが紹介されました。今回の参加者はアメリカ、韓国、ルーマニア、カナダ、中国、オーストラリア、スコットランド、香港、日本の9カ国で、花材はミモザをはじめ、カスミソウ、スイートピー、リューココリーネ、ヒペリカム、チューリップが選ばれ、皆思い思いに黄色いミモザと淡いピンクのアレンジを楽しみながら和気あいあいとした楽しいひとときを過ごしました。



どんなアレンジができるかな



市立小中学校に図書を寄贈

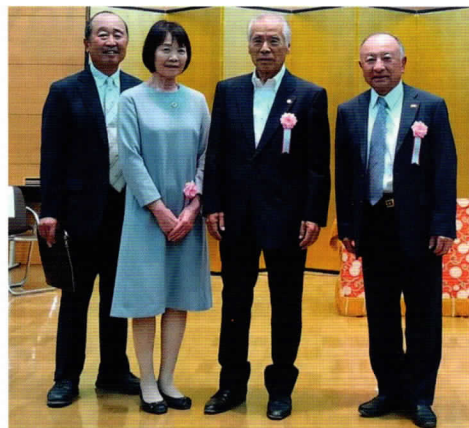


毎年恒例となっている図書の寄贈のため、平出利之会長ほか役員が、4月27日、三島市教育委員会を訪れ、小塚英幸教育長に市立小中学校21校分の本を手渡しました。この本は、「ニュースがわかる世界地図」（昭文社）というもので、地図ばかりでなく、世界の情勢、国際ニュース、時事問題などを、写真や表を使って分かりやすく解説しており、楽しく教養が身につく図書です。学校の図書室でも子どもたちに人気があり、とても役立っているそうです。これは、協会が保有する国際交流振興基金を活用して行っている事業で、今年で22回目となりました。



令和8年度 春季善行表彰受賞

善行表彰とは、一般社団法人日本善行会が行っている、地域や社会の模範となる善い行い（ボランティア、人命救助、環境美化、福祉活動など）を行った個人や団体を、公式にたたえる表彰制度です。この令和8年度春季表彰（国際貢献表彰）に、平出利之会長、矢岸克行、遠藤正幸両副会長、望月眞弓総務委員長の4人が選出され、5月16日（土）、明治神宮参集殿において表彰式が開催されました。



左から遠藤さん、望月さん、矢岸さん、平出会長



ニュープリマス派遣研修生



麗水市派遣研修生

3月21日～28日にニュージーランドの姉妹都市ニュープリマスへ、3月24日～30日に中国浙江省の友好都市麗水市へ、それぞれ研修生が派遣され、交流をおこないました。

ニュープリマスへは、昨秋の英語スピーチコンテストの優勝者を含む9名の中学生と指導員2名が参加し、ホームステイをしながら、ワイタラハイスクールでの授業参加、周辺の見学などの異文化体験をおこないました。

麗水市へは、三島市の囲碁教室で学ぶ小学校6年生から高校3年生の10名と指導員2名が参加し、市内の小学校・中学校・高校を訪問し交流するとともに、麗水市で囲碁を学ぶ同世代の子どもたちとの親善対局もおこなって、親交を深めました。

ともに1週間ほどの短期間でしたが、滞在中の様々な「体験」「発見」「感動」を通して、「自己管理」「積極性」そして何より「一歩踏み出す勇気」と「挑戦」の大切さを学んだ研修となりました。研修後の子どもたちは、一回りも二回りも大きく成長し、逞しくなったようです。

新職員紹介

三島市環境市民部
地域協働・安全課国際交流室
にし じま あか り
西島明璃さん



育児休業から復帰し、令和8年5月1日から国際交流室で皆様と共に活動することとなりました西島明璃と申します。

休業前は、同じ地域協働・安全課の防犯・地域交通係で交通安全に関する業務に携わっていました。

大学では国際関係学を学び、韓国語科目を履修していました。英語科目は履修しておらず、どちらかと言えば英語学習に関して苦手意識があったため、一念発起し、オーストラリアへ短期留学に行きました。現地では韓国人とシェアハウスをして、家では韓国語、学校では英語の学習に取り組んでいました。全くのゼロの状態からスタートしたため、最初は大変苦勞し

ましたが、海外での生活はとても新鮮で楽しく、夢のような思い出として今でも心に残っています。

これまでの経験を活かし、協会の更なる発展に貢献したいと考えております。また、姉妹都市や友好都市等との交流を通して、市民の皆様が国際理解を深めることができるようサポートしていく所存です。そして、外国籍市民の方々が安心して生活できるよう、多文化共生社会に向けて会員の皆様と一緒に考え、協力して努めてまいります。どうぞ宜しくお願いいたします。

✧ James Molloy - MIRA Newsletter #47 ✧

JIMのみしまものがたり④⑦

つつじと故郷を想う

1995年のゴールデンウィーク、時差ぼけはようやく抜けていたものの、新しい生活に馴染むにはまだほど遠い状態でした。日本に来て約一ヶ月が経った頃、面白い祭りがあると耳にしました。参加者たちが広大な砂丘で巨大な凧を操り、空の覇権をかけて戦うというのです。これは見に行くしかありません。

浜松へ向けて、日本での初めての本格的なドライブに出発しました。その日は「初めて」の連続でした。県西部への初訪問、初めてのうなぎ、そしてもちろん、初めての凧揚げ合戦。素晴らしい一日でしたが、驚くことに今でも最も鮮明に記憶に残っているのは、三島から中田島砂丘へと続く道沿いに咲き誇っていた、青空を背景に鮮やかに咲き誇るピンクの花々でした。あれから三十一年、つつじを見るたびに、あの日を思い出します。

つつじの花を見て、あなたは何を思い浮かべるでしょうか。ゴールデンウィークの家族旅行を懐かしむ方もいれば、花の中に含まれる甘くも毒のある蜜のことを思い出す方もいるかもしれません。英語名「Azalea」は古代ギリシャ語の azaleos(「乾いた」の意)に由来し、18世紀のスウェーデンの植物学者カール・リンネが、この植物が水はけのよい土壌を好む性質にちなんで名付けたとされています。一方、日本語名を見ると、また少し違う世界が見えてきます。「躑躅(つつじ)」という漢字は、歩みが遅くなり、よろめき、そして立ち止まる様子を表してい

ます。花があまりにも美しく、思わず足を止めて見入ってしまうからだという説があります。



もう一つは植物そのものの毒性に由来し、つつじを口にすると千鳥足になって幻覚を見るからだという説です。

古今東西、つつじは様々な意味を持ち続けてきました。古代ギリシャでは祭壇や祭りを飾り、ヴィクトリア朝のイギリスでは優雅さと豊かさの象徴とされました。『源氏物語』では光源氏が愛する紫の上のためにつつじを植え、江戸時代には園芸ブームの花形ともなりました。中国では「思郷の木」と呼ばれ、望郷と追憶の象徴とされてきました。

私にとっても、いにしえの人々と同じように、つつじが咲く春は毎年、色彩と郷愁に満ちています。夏への道を彩るこの花は、日本での最初の日々へと私を連れ戻してくれます——故郷を想い、そしてこの場所が新たな故郷となっていったあの頃へと。

つつじを思う存分楽しめる場所をお探しでしたら、山中城跡への小ドライブをお勧めします。畝堀と障子堀が幾何学的な美しさを見せる史跡の中に咲き乱れるつつじ、そして富士山と駿河湾の絶景があなたを待っています。

【 訃 報 】 志村 肇さん

協会の監事で、広報委員会のメンバーでもある、元三島市議会議員の志村肇さんが、5月17日逝去されました。心より、ご冥福をお祈りいたします。

🌸 せかいをつなぐ 🌸
🌸 心をつなぐ 🌸
三島市国際交流協会

申込み・問合せ

- ★ 三島市国際交流協会 (MIRA) 事務局
TEL 976-1020 FAX 976-1021
- ★ 三島市国際交流室
TEL 983-2645
三島市中央町5-5三島市役所中央町別館



▲ホームページ